



2020/9月号

vol.16

まごころ

みどりヶ丘病院広報誌

私たちは真心の医療と福祉を通じて、
地域の人々に貢献します

特集 消化器外科

消化器外科の病気について

- 新任医師のご紹介
- 事業譲受のお知らせ
- 入退院支援センターを開設しました
- 病棟転換についてのご報告
- 放射線診断センター開設予定
- 認定看護師コラム
- 栄養課だより
- 診療所のご紹介

今回のテーマ
消化器外科の
病気について

Special Interview

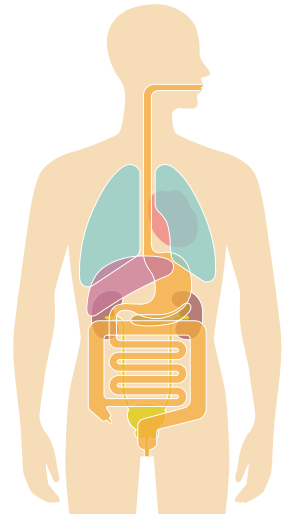
消化器外科部長
にしひろし
西 宏

日本外科学会 専門医、指導医
日本消化器外科学会 専門医、指導医
消化器がん外科治療認定医
近畿外科学会 評議員



増える胃がんや大腸がん
早期発見、早期治療が大切です

消化器外科とは、食道・胃・腸、および肝臓・胆嚢・膵臓など消化器系臓器の疾患を専門とし、疾患内容は腹部救急疾患から悪性腫瘍まで多岐にわたります。



食道から肛門までの消化器の手術を扱う診療科です



消化器外科というのは、食道から肛門までの全消化器疾患に対する外科的治療を扱う診療科です。消化器というと胃や大腸などの消化管だけを想像されるかもしれませんが、肝臓や膵臓も消化器に含まれ、これらの疾患の手術や治療を行っています。最近の傾向として、多いのは胃がんや大腸がんです。ほかに、胆嚢炎や胆石症、虫垂炎、腹部のヘルニア、肛門部疾患などの手術治療を行います。

胆嚢炎や虫垂炎、憩室炎などの炎症性疾患で緊急手術が必要なケースを除き、外来で直接、消化器外科を受診されるケースは少ないです。腹痛や下血などの症状があったり、健康診断などで何らかの異常が見つかったりして消化器内科を受診される方や、入院患者さんの中で出血や貧血の症状が見られ、検査の結果外科的治療が必要と判断され、紹介されるケースが主です。

最近では術前検査を外来でひと通り済ませてから入院するケースが増えています。手術に関しては、適応に制限はありますが、患者さんの身体的な負担をなるべく軽減すべく、胸腔鏡や腹腔鏡を用いた鏡視下手術を積極的に行っており、全身麻酔の手術症例の中で、75%くらいが鏡視下手術となっています。

術後の早期離床を目指し、リハビリテーションを取り入れています

鏡視下手術の場合、傷が小さいため、痛みが少なく回復も早いので、比較的早く退院することができます。できるだけ元気に退院していただくためには体力の衰えを防ぐことが大切で、手術の翌日からでも歩いてもらうようにしています。

特にがんの患者さんに関しては、手術後は強い疲労感や脱力感を感じますし、傷が小さいとはいえ痛みがあると、呼吸の抑制が起こることもあります。だからといってそのまま安静にして臥床している時間が長くなればなるほど、

筋力が低下し、呼吸器や循環器も機能低下を起こしてしまいます。そこで、術後の早期離床に向けて、術前から呼吸訓練などのリハビリテーションを行ない、できるだけ早く家庭に戻り社会復帰できるようなサポートも行っていきます。



患者さんの年齢や症状に合わせた治療を心がけています

当院の患者さんは比較的高齢で合併症を持った方が多くいらっしゃいますが、基本的にはそれぞれの疾患についてのガイドラインがあるので、それに則った治療を行います。しかし、高齢者や合併症の多い患者さんの場合、どうしてもガイドラインから外れてしまうことがあります。その場合、ガイドライン通りの治療だと、オーバーサージェリーといってやり過ぎになってしまうことがあります。

外科の治療というのは、メスを入れる時点で患者さんに傷をつけるので、それはマイナスになります。治療とい

うのは、マイナスよりも必ずプラス面が大きくなるものでなければいけません。いかにメリットを大きくしてデメリットを小さくするか、患者さんの年齢や症状、体力などを検討し、一人ひとりにあった“やりすぎにならない”治療を心がけています。



気になる症状は見過ごさず、早期発見・早期治療を

どのような疾患でも、放っておけば進行していきます。悪性疾患であれば、進行すればするほど治療が難しくなりますし、良性疾患であってもひどくなれば手術も難しくなってきます。できるだけ早期発見・早期治療を行うことが大事であり、そのためにも、定期的な健康診断を受ける、気になる症状があれば、それほど強い症状ではなくても

きちんと検査を受けるなど、早めに対処することが重要です。

激痛や高熱であれば、皆さんすぐに受診されると思いますが、腹痛や便秘、発熱など軽微な症状ではあっても、それが数日間継続するような場合にはきちんと検査を受けることをお勧めします。

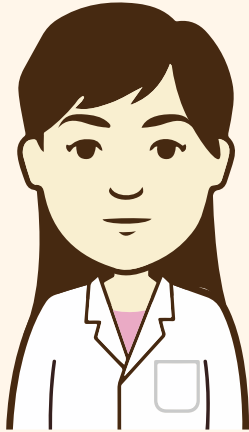


地域の医療機関とも連携しているので安心です

なにか普段と違う、気になる症状がある場合、地域のクリニックやかかりつけの診療所などを受診し、外科的な治療が必要な時には、当院を思い出してください。



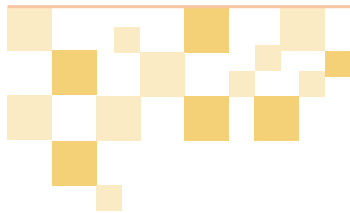
新 任 医 師 の ご 紹 介



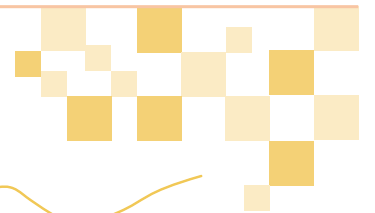
脳神経外科・リハビリテーション科 てらだ ゆきえ 寺田 幸恵

- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本リハビリテーション学会認定臨床医
- ・日本神経内視鏡学会技術認定医
- ・身体障害者福祉法第15条指定医(肢体不自由・視覚障害)
- ・難病指定医

2020年7月より脳神経外科・リハビリテーション科で勤務させていただいております。脳卒中の急性期～回復期～維持期まで幅広く診療して参りました。特に脳卒中・脊椎疾患後の患者さんに対する装具療法、ボトックス療法、また嚥下機能評価に力を入れて、今後も日々精進して参ります。患者さんの生活を診ることのできる医師でありたいと考えておりますので、些細な事でもお気軽にご相談ください。

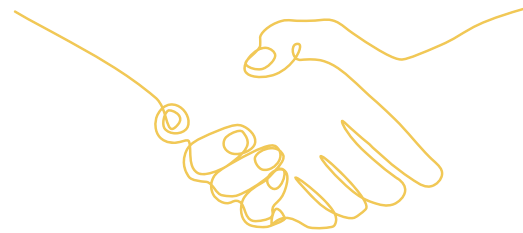


事業譲受のお知らせ



このたび当法人は医療法人博愛会より、博愛茨木病院・博愛城北病院・はくあい訪問看護ステーション・はくあい介護相談所の譲渡を受け、2020年4月1日をもって、事業を譲受いたしましたことをご知らせいたします。

また、今後も当法人において医療・介護事業を変わらず継続して提供を行うことになりました。職員一同、新たな体制で地域に密着した質の高い医療を提供していく所存でございます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



● ● ● 入退院支援センターを開設しました ● ● ●

「入退院支援センター」では安心して入院していただくために、専任の看護師や職員が予約入院となる患者さんを対象に、一人ひとりに必要な情報やご希望、不安などをお聞きした上で、入院目的に沿ったわかりやすい説明をさせていただきます。

入院前から退院後の生活上の注意点や準備について一緒に考えることにより、患者さんやご家族が安心して入退院できる環境を整えていきます。病棟看護師や薬剤師、栄養士など多職種と連携し、必要な場合は、早期にケースワーカーが介入できるように調整し、より良い入院生活が送れるようにいたします。

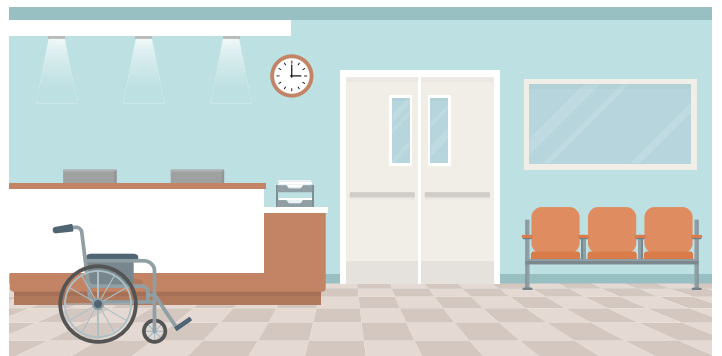
入院する患者さんやご家族の不安を解消し、退院後の生活がお困りにならないように、入院前から継続して職員がサポートする部門を目指していきます。



● ● ● 病棟転換についてのご報告 ● ● ●

当院におきまして、2020年6月1日付けにて障がい者病棟を地域包括ケア病棟へと転換いたしました。

転換に伴う工事期間中は、通行規制や騒音など、入院患者さん・ご家族の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力により無事完了いたしました。ご協力ありがとうございました。今後とも、充実した医療提供体制を目指していく所存ですので、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



● ● ● 放射線診断センター開設予定 ● ● ●



2020年秋ごろ、最新の高性能血管造影装置やCT、MRIを新設し、今まで以上の高度画像診断を行うことが可能となる放射線診断センターの開設を予定しております。

機能面の向上による患者さんに対する体や心にも優しい検査、早期診断と早期治療を目指します。

今後も、当院は職員が高い専門性を持って患者さんへ医療を提供することができる環境を構築し、より精度とレベルの高い診断となるよう尽力いたします。



脳卒中の「卒中」という言葉は「突然起こる」という意味で、その名の通り脳卒中は突然起こり命にかかわる病気の1つです。脳の血管に障害が起きることによって生じる病気の総称でもあります。

原因はさまざまですが、症状として脳の血管が詰まる「脳梗塞」、脳の中の血管が破れて出血する「脳出血」、脳の表面の血管にできたコブ（脳動脈瘤）が破れる「クモ膜下出血」などがあります。一命を取り留めても、麻痺などの後遺症が残ることや、寝たきりとなってしまうこともある病気で、予防法としては特に高血圧の治療や生活習慣の見直しが重要になります。

“おかしいな”と感じたときに、脳卒中の症状を見分ける1つの方法をご紹介します。



脳卒中リハビリテーション
認定看護師
ながとも さとみ
長友 聡美

Act-FAST (アクト ファスト)

Face (顔)・Arms (腕)・Speech (話し方)・Time (時間)の頭文字をとったものです。

- ① Face (顔) : 「いっ」としてみてと声をかけて、口元が下がるなど顔の片側のゆがみがないかを確認します
- ② Arms (腕) : 目を瞑って手のひらを上にしたまま前にならぬをしてもらい、その時に片方の手が下がったりしないかを確認します
- ③ Speech (話し方) : 会話をするときの話しにくさがないかを確認します
- ④ Time (時間) : ①②③の症状が出た時間を確認して119番へ連絡します



脳卒中の治療には「Time is Brain」という言葉があります。病気を発症してから治療までの時間が短い方がいいため、何かおかしいと思ったら病院を受診してください。

栄養課だより



フローズン フルーツヨーグルト

材料(1人分)

- ・プレーンヨーグルト..... 100g
- ・バナナ 1/4本
- ・りんご 1/8個

1人当たり	たんぱく質— 4g
エネルギー量	脂質 — 3.1g
120kcal	塩分 — 0.1g



作り方

- ① ヨーグルトを水切りする。
- ② 果物をサイコロ切りにする。
- ③ ①と②を混ぜ保存袋などに入れ、平らにして冷凍する。
- ④ 半解凍し、食べやすい大きさにして食べる。



ヨーグルトには、乳酸菌が多く含まれています。

乳酸菌の種類によって期待される効果はさまざまだということは知っていましたか？

- 乳酸菌の種類
- ・ビフィズス菌BE80:便秘改善
 - ・ビフィズス菌BB12:免疫機能の活性
 - ・ブルガリア菌:皮膚の改善
 - ・カゼリ菌:内臓脂肪や皮下脂肪の軽減





診療所のご紹介

医療法人 愛基会 黒川医院

くろかわ ひろし
黒川 浩史 院長

● 医院を始めた経緯について

当院は1967(昭和42)年に、父黒川正夫によって高槻市日吉台に開設されました。当時は住宅がまだ少なく、当地には診療所は一軒もありませんでした。1998(平成10)年に、私が東京の大学病院を辞して入職し、2003(平成15)年より二代目院長に就任して、現在に至っております。

● 専門分野について

大学病院では主に循環器疾患を担当しておりました。郊外の分院での勤務歴が長く、その際は内科全般を診療しておりました。日中は内科医でしたが、当直時には小児科、外科系疾患などの診療も行っていました。

● 地域のクリニックとしての思い

私は一般医としてあえて専門性を持たず、この地で「かかりつけ医」として働くことが、自分の役割であると思っています。「いつでも何でも聞ける」地域に密着した「まちのお医者さん」を目指しております。

● メッセージ

2020(令和2)年6月よりリニューアルした新医院はバリアフリーで、どなたでも受診しやすくなっています。みどりヶ丘病院とは円滑な病診連携を通して、これからも地域に根差し、皆様に喜ばれる医療を行なっていきます。



〒569-1022大阪府高槻市日吉台一番町16-1 TEL:072-687-0373
JR高槻駅北口(4番乗り場・日吉台行き)～日吉台南公園を下車徒歩約2分
阪急高槻市駅北口(6番乗り場・上成合または川久保行き)～日吉台東口を下車徒歩約10分
※駐車場もございます
診療時間 午前9:00～12:30、午後18:00～20:15(休診日:水曜・土曜午後、日曜、祝日)

松本ほがらかクリニック

まつもと ひろあき
松本 浩明 院長

● クリニックについて

診療科は、内科・糖尿病内科・循環器内科・小児科です。理念「安心と笑顔を届け、集う人皆がほがらかになれる、ほがらかな笑顔と優しい言葉に満ちた場所」のもと、今まで大事にしてきた“地域に根差した医療”を継続した上で、新しくチャレンジもして参ります。どのような症状やお悩み事も、お気軽にご相談ください。

● すこやか外来について

育児ママの疑問・不安解決の相談、子どもの健康診断や予防接種、高齢者の健康診断などを行っています。午後からの子どもの「予防接種外来」は、通常の患者さんとは別の時間帯のため、安心して来院いただけます。

● 栄養相談について

管理栄養士が栄養相談を行っており、2階の療養指導室では管理栄養士が実際に治療食を作り、私も含め皆さんで試食し、実践できるようアドバイスを行っております。皆で食事をとることで交流の場にもなっています。

● ACP(人生相談)について

この地域で安心して最期を迎えていただくために、人生の最終ステージでどのような医療を望むのかを一緒に考えます。人生を振り返り、自身の価値観などを言語化し、それを家族や介護者にも共有します。



〒569-1022大阪府高槻市日吉台七番町17-12 TEL:072-687-6525
JR高槻駅北口バス乗り場(日吉台行き)～南公園を下車徒歩6分、
JR高槻駅南口バス乗り場(川久保行き)～成合旭橋を下車徒歩6分、
阪急高槻市駅北口バス乗り場(上成合行き)～成合旭橋を下車徒歩6分 ※駐車場・駐輪場もございます
診療時間 [外来] 午前9:00～12:00、午後17:00～19:00 [予防接種] 午後15:00～16:20
(休診日:水曜、土曜午後、日祝)

第2回市民公開講座

中止

新型コロナウイルス等による感染症の状況を鑑み、予定しておりました第2回市民公開講座を中止させていただきますこととなりました。皆様に置かれましては、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

日時 2020年10月31日(土) 14:00~17:00

場所 クロスパル高槻イベントホール

- ・脳卒中を予防しよう!
病院長 兼 脳神経外科部長 新井 基弘先生
- ・腰痛、足のしびれ、痛みについて悩んでいませんか?
～病気と治療について～
日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科指導医
小池 宏典先生

※講演終了後、希望者の方のみ

「無料健康チェック&健康アドバイス」を行います。



ボランティア 募集



当院では、患者さんが安心して診察や治療を受けられるよりよい環境を作ることを目的に、ボランティアの受け入れを行っています。職員と協力し、ボランティアとして一緒に患者さんの心に寄り添った活動を行ってくださる方をお待ちしています。

ご興味のある方は、当院人事課までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】みどりヶ丘病院 人事課

TEL：072-681-5792(直通) 受付時間：9:00~16:00(月~金)

編集 後記

今年は感染症の影響を受け、例年とは違った雰囲気となりました。

緊急事態宣言も出され、5月開催予定であった第2回市民公開講座も開催することができず、広報としてはとても寂しい期間でした。ですが、またいつもの日常を送ることができるよう、皆さんで感染拡大防止を徹底し、この難局を乗り越えましょう。

INFORMATION

診療受付時間：8:15~12:00 ※受付終了時間は診療科によって異なります。

休診日：日曜・祝祭日、および年末年始 時間外診療：24時間365日対応 お問い合わせ：TEL 072-681-5717(代表)

ご意見、ご感想
お問い合わせはこちらまで



病院広報
電話番号

072-681-5764



midori-info@midorigaoka.or.jp



社会医療法人 祐生会 みどりヶ丘病院

〒569-1121 大阪府高槻市真上町3-13-1

<https://www.midorigaoka.hospital/>

